

## 自己点検・自己評価および学校関係者評価会議

実施日：令和2年5月27日

学校法人阪和学園 錦秀会看護専門学校

自己点検・自己評価					学校関係者
大項目	中項目	評価対象項目	評点	評点平均	評価コメント
1 教育 理念 ・ 目的 ・ 目標	1)学校の教育理念・目的・目標の設定	(1)教育理念は明文化している。	2	1.27	・学校の教育理念に関しては、学生にはしっかり浸透していない感じがする。(卒業生)
		(2)学校独自の教育理念を持っている。	2		
		(3)教育理念・目的・目標は人材育成の内容と一致している。	2		
	2)教育理念・目的・目標の達成	(4)教職員は教育理念・目的・目標について認識し、共有している。	1		
		(5)教職員は教育理念・目的・目標に向けて努力している。	1		
		(6)教育理念・目的・目標は学生に浸透している。	1		
	3)教育理念・目的・目標の点検、見直し	(7)教育理念・目的・目標と教育課程の考えが一貫している。	1		
		(8)社会変化、ニーズに対応して見直している。	1		
		(9)教育理念・目的・目標は年一回見直している。	1		
	4)学校の将来構想の明確化	(10)学校の将来構想は示されている。	1		
		(11)学校の将来構想について組織的に取り組む体制が整えられている。	1		
2 学生 の 受け 入れ	1)学生募集の方法	(12)学校の教育理念・目的・目標を反映した学生募集方針を定めている。	2	1.69	・ホームページは見やすく、オープンキャンパスも活気があって、出願を決める際に好印象であった。(卒業生) ・看護師試験合格率だけでなく、准看護師試験の合格率もホームページに掲載すべきではないか。(卒業生) ・入学生選抜に関して、成績を優先するのは理解できるが、卒業後医療従事者として受け入れる側としては、育てられない学生だと困るので、面接の際にしっかりと人物を見極めて欲しい。(医療関係者)
		(13)入学定員を明示している。	2		
		(14)推薦・社会人・一般入試制度の有無は明記している。	2		
		(15)社会人入学制度を取り入れている。	2		
	2)入学者選抜方法	(16)入学選抜の方法は明示している。	2		
		(17)合格基準は明確にしている。	2		
		(18)転入学の方法・基準を明文化している。	2		
	3)学生募集の広報	(19)学生募集要項を作成し、看護の情報を提供している。	2		
		(20)志願者が関心を持つように工夫されている。	2		
	4)学生定員の質・量的充足状況	(21)在学学生は定員の95%以上を充たしている。	2		
		(22)入学試験の応募状況は定員の1.5倍以上である。	1		
		(23)合格者からの入学率は90%以上である。	2		
		(24)推薦入試の入学生は定員の60%以内である。	1		
	5)学生募集に関する分析・評価体制	(25)広報委員会が定期的開催されている。	1		
(26)志願者・合格者・入学者などの推移とその評価がなされている。		1			
(27)多様な選抜方法と学生の状況について検討している。		1			

3 学生生活への支援	1)健康管理	(28)定期的に健康診断を実施している。	2	1.47	<p>・健康管理において指導しているという部分の評価が低いのはどんな理由からか？(地域住民・教育経験者) →学生の健康管理の指導はしっかり行っているつもりではあるが、実際においては、体調不良により欠席する学生等もあり、成果が出ていない部分もあると判断し、低い評価とした。</p> <p>・「専任のカウンセラーを置いている」の項目の評価が低いのはなぜか(地域住民・教育経験者) →学生が心の相談ができる体制は整えているが、資格を持った専任のカウンセラーではなく、大学院で心理学を学んだ事務職員が対応しているため、評価を低くした。</p> <p>・学生カウンセラーではなく、学生一人一人に対して、教員が心と体の両面に対してきめ細やかな対応ができていのかを聞きたい。(医療関係者) →教員は全員、学生が個性を活かし成長できるよう指導を行っている。定期的な学生面接は年3回、また問題のある学生に関しては、都度面接対応をしている。ただ、このところ、学力低下や自立心の低い学生も多くなってきている傾向があるため、入学試験の面接の際に、しっかり見極めていきたいと考えている。</p> <p>・学生カウンセラーの利用頻度は把握しているのか。学生の相談の情報がカウンセラーから教員へ相談内容の連絡等はしているのか。(卒業生) →学生からの相談者の氏名や数、相談内容はカウンセラーのみが把握しており、その内容は教員等に伝えることはしていない。学生が相談しやすいように、情報はカウンセラーのみに留めていることをしっかりアナウンスし、学生が利用しやすいようにしたい。</p>
		(29)学生が日常生活の健康管理ができるように指導している。	1		
		(30)臨地実習での感染防止の対策をとっている	2		
		(31)健康記録は的確に記載し、活用している。	2		
	2)学生相談室、進路相談室の設置と対応	(32)学生相談の窓口を設けていることを学生に周知している。	2		
		(33)学生相談の内容によって担当を決めている。	2		
		(34)プライバシーが保持されるシステムができています。	2		
		(35)学生相談の専任のカウンセラーを置いている。	1		
	3)ボランティアの支援体制	(36)ボランティア活動の支援体制ができています。	2		
	4)学生委員会活動への支援	(37)学生委員会活動で使用できる室がある。	0		
		(38)学生委員会活動が円滑にいくために助言・指導している。	0		
		(39)他学年と交流の機会をもっている。	1		
	5)福利厚生	(40)奨学金制度について学生に周知している。	2		
(41)学生寄宿舎を有し、管理責任者を置いている。		1			
(42)学生は傷害保険に加入している。		2			
4 教育課程	1)カリキュラムの立案	(43)教育理念・目標にあった科目設定をしている。	2	1.75	
		(44)教育科目設定には学校の特色を盛り込んでいる。	1		
		(45)科目設定には学習者・社会のニーズを考慮している。	2		
		(46)指定規則に合致した科目・単位を設定している。	2		

5 ・ 教育 活動 ・ 教育 指導 の あり 方	1)学習支援(ガイダンス)	(47)年度初めにカリキュラムガイダンスを行っている。	2	1.38	<p>・教員の入れ替わりが多い(退職、入職)、退職になった先生の中には、是非この先生の授業を後輩にも聞いて欲しいという方も多かった。(卒業生) →教員の在職安定化に努めていきたい。</p> <p>・ノートパソコンの故障が多かった。(卒業生)</p> <p>・臨地実習において実習担当者が現場ではこのままでは通用しないという観点から合格点に達しない低い評価をした学生が、学校側の評価で進級していることがある。(医療関係者) →実習担当者は実習場での評価をしっかりと見て頂いているが、学校側では、実習における各学生の受け持ち患者の違いや実習以外の別の部分も見て最終評価をしていることがあるので、臨床では欠点レベルであるが合格していることも生じるケースもある。ただ、実習現場とのコンセンサスをしっかりと取り、ずれを是正していきたい。</p> <p>・5)の授業評価の得点は高いが、4)教育の工夫・研究の得点が低いのはどうしてか(地域住民・教育経験者) →教員の授業評価は確実にやっているが、開校後間もないこともあり、その評価内容を受けて工夫を行ったり、研究したりということが組織的に十分には取り組めていないと判断したため低い評価にした。今後の課題として取り組みたい。</p>
		(48)学生便覧は内容・構成が工夫して作成され、学生が活用している。	1		
		(49)シラバスが作成され活用について学生に説明している。	1		
		(50)1クラスの学生数は40人以下の構成である。	0		
	2)授業の計画的遂行・調整	(51)授業計画に基づいて授業は実施している。	1		
		(52)時間割の進捗は、授業計画通りに行われている。	2		
		(53)科目毎の授業内容を整理し、担当者へ周知している。	1		
	3)授業科目の担当および時間	(54)科目を担当する教員(専任・非常勤)は専門分野についての専門家が担当している。	2		
		(55)教員一人当たりの週授業時間数は15時間以内である。	2		
		(56)教員の实習担当時間数は3時間毎に1時間程度の準備時間が見込まれている。	1		
		(57)教員間の講義・実習担当時間の配分はほぼ均等である。	0		
	4)教育の工夫・研究	(58)授業内容は精選され、学生のレディネスに沿って構成されている。	1		
		(59)学生が自主的に考え、学習することが可能な授業形態が導入されている。	1		
		(60)視聴覚教育機器・教材の質と量は十分で、効果的に活用されている。	0		
		(61)効果的な教育方法について、検討の場を持っている。	1		
		(62)教育において日常的に教材研究を行っている。	1		
	5)授業評価	(63)教員は授業終了時に、学生による評価を実施している。	2		
		(64)学生による評価は評価表を作成し行っている。	2		
		(65)教員自身による自己評価を実施している。	2		
	6)単位互換	(66)大学・短大・専修学校への単位互換が可能な科目設定・時間設定である。	2		
		(67)大学(短大)卒の入学生に単位の認定制をとっている。	2		
7)成績評価・単位認定	(68)評価の方法は試験・出席・学習状況・レポートにより行われている。	2			
	(69)授業科目毎に評価者と単位認定を明示している。	2			
	(70)追試験・再試験・単位未修得者の評価基準を明確にしている。	2			
	(71)進級・進度の基準を明示している。	1			
	(72)履修認定会議・卒業判定会議は定期的開催している。	2			

6 ・ 実 習 指 導 体 制	1)実習施設の要件	(73)実習施設は実習場としての施設設備が整っている。(カンファレンス、更衣室等)	1	1.35	<p>・実習受け入れ先として現在1グループ6名で受け入れを行っているが、実習指導者は現場の患者を受け持ちながら実習指導も行うため、きめ細やかな実習指導を行うために、1グループ4名位にできないか検討いただきたい。また、それを錦秀会グループ以外の医療施設等の実習先確保に努めてもらいたい。(福祉関係者、医療関係者)</p> <p>→現在、多くの学生を錦秀会グループの病院、福祉施設で受け入れをして頂いているが、現状として4年制大学看護学部の増加等により、外部の医療機関等で実習先を確保するのがかなり難しい状況である。しかしながら、受け入れ先の負担が大きいこともよく理解できるので、外部の実習先確保に努めたい。</p>
		(74)実習施設は実習に必要な図書が整備されている。	1		
		(75)実習施設は基本的看護に必要な看護用具が整備されている。	1		
		(76)実習施設は看護基準、看護手順を作成している。	2		
		(77)1看護単位の実習生受け入れは10名以内である。	2		
	2)実習場の開発	(78)実習科目の目標・内容に見合った実習施設を確保している。	1		
		(79)実習施設は実習目的を果たすため適切・妥当であるか定期的に見直している。	1		
	3)実習指導者の能力開発	(80)実習指導者に対して現任教育を計画的に実施している。	1		
		(81)実習指導者は自主的に研究会を実施している。	0		
		(82)実習指導者は学生の看護ケアに適切にアドバイスできている。	2		
		(83)実習指導者は看護実践の創意工夫に努める姿勢がある。	2		
	4)実習指導体制	(84)実習要項は各看護学毎に作成している。	2		
		(85)実習指導者会議は定期的開催している。	2		
		(86)実習指導体制が明確にされ、指導者は1看護単位の2名以上配置されている。	1		
(87)実習指導者は実習要項を元に指導計画を立案・実施・評価している。		1			
(88)実習指導員と教員は、役割分担を明確にして指導している。		1			
(89)実習評価は実習指導責任者が作成している。		2			
7 ・ 研 究 ・ 研 修 活 動	1)教員の研究活動	(90)教員は専門領域の研究活動に取り組んでいる。	1	1.50	<p>・学校にとって教員が良くなければ教育目標を達成することは難しい。また、その教員の質を上げることが一番難しいことであるが、質を上げるためには研修を行うことが大切である。錦秀会看護専門学校では、教員の研修体制は整っているようであるが、受けた研修の内容を学校に持ち帰り、是非とも他の教員と共有していただきたい。(地域住民・教育経験者)</p>
		(91)教員は研究活動の校外研修日を月1回以上、確保している。	1		
		(92)教員は臨床ナースと連携や交流を図り臨床看護研究に取り組んでいる。	1		
	2)研究成果の発表	(93)教員は研究成果を過去2年以内に公表している。	2		
	3)研修活動への積極的参加と教員の活動	(94)教員は年1回以上、自主的に研修に参加している。	2		
		(95)教員は、専門領域の臨地実習、研修を担当している。	2		
		(96)教員が研修に参加できるようにシステム作りをしている。	2		
		(97)教員は対外的に講師としての役割を果たし、活動している。	1		

8 ・ 組 織 管 理 ・ 運 営	1)学校の組織と関連組織の整備	(98)教員組織、事務組織は専任者が配置され、運営しやすい組織図ができています。	2	1.82	・男女共学になって良かった点と悪かった点があれば教えて欲しい。(地域住民・教育経験者) →(良かった点)男子学生の入学によってクラスの纏まりが良くなり、学生間の意見交換も活発になった。また、女子学生だけだった時と比較すると、女子学生の態度面も改善されたように感じる。 →(悪かった点)施設設備の面で男子トイレが少ないと感じることがある。ただ、トイレの増設はかなりの経費が掛かることもあり、学校の経営状況も勘案しながら検討していきたい。
		(99)教員組織と事務組織は適正に連携している。	2		
		(100)教員組織は運営に必要な人数と職種が配置されている。	2		
		(101)事務組織は運営に必要な人数が配置されている。	2		
		(102)各職員が命令系統に沿ってその役割を果たしている。	1		
		(103)教員の人事について副学校長・学科長は意見を具申している。	2		
		(104)教員の将来方針を把握し、助言している。	1		
	2)教師・実習指導者の要件	(105)講師の資格要件を明示している。	2		
		(106)非常勤講師は資格要件をもとに選考している。	2		
		(107)実習指導者の資格要件は明示している。	1		
	3)教員人事の適正配置	(108)教員は看護学の専門領域毎に配置されている。	2		
		(109)副学校長は専任で配置されている。	2		
		(110)学科長は専任で配置されている。	2		
		(111)実習調整者は専任で配置されている。	2		
		4)職員の職務分掌	(112)職務分掌は作成している。		
	(113)学校長は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。		2		
	(114)副学校長は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。		2		
	(115)事務長は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。		2		
	(116)学科長・実習調整者は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。		2		
	(117)教員は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。		2		
	(118)事務員は職務分掌に沿ってその役割を果たしている。		2		
	5)会議への参加運営		(119)副学校長は運営会議に出席し、必要時意見を述べている。		
		(120)副学校長は学校運営会議に出席し、必要時意見を述べている。	2		
		(121)学校運営会議は定期的開催している。	2		
		(122)教員・カリキュラム会議は月1回以上開催している。	2		
(123)講師会議は定期的開催している。		0			
6)学籍の管理	(124)学籍簿は学籍の記録、履修状況が正確に記載され、証明機能を備えている。	2			
	(125)学籍簿は保管が適切になされ、秘密が守られている。	2			

9 施設 整備	1)校舎の整備と管理	(126)クラス数に見合った普通教室を持っている。	1	1.52	<p>・准看護学科において、後ろの方の席は先生の声が聞き取りにくいことがあった。(卒業生) →マイクの使用等、声がしっかりと聞こえるように対応したい。</p> <p>・学生数に対してもう少し駐車場があると良いと思うが、駐車場を増やすことはできないのか(卒業生) →開校後に駐車場スペースを増やすために、近隣の空きスペースを賃借し増やす努力はしているが、現状、本校は住宅地にあり、これ以上駐車スペースを増やすのは難しい。これまで通り、希望者を募り、抽選のうえ駐車場を利用していただくようにしたい。</p>
		(127)看護学別に演習できるような実習室の配置(物品等)がされている。	1		
		(128)グループ討議等ができるゼミ室を有している。	1		
		(129)視聴覚室を有している。	0		
		(130)コンピューター室を有している。	2		
		(131)専用の図書室を有している。	2		
		(132)体育館または講堂を有している。	2		
		(133)校内施設利用規程は作成している。	1		
	(134)施設利用規程には学生の自己学習に使用できるように配慮している。	2			
	2)学生支援施設の整備と管理	(135)専用の保健室がある。	2		
		(136)学生相談室が設置されている。	1		
		(137)自習室の整備ができています。	1		
		(138)学生用トイレ、更衣室がある。	2		
		(139)学生ホールは交流の場として活用している。	2		
		(140)学生ホールは整備され、憩いの場作りができています。	2		
	3)図書室の整備と管理	(141)図書室および資料は分野毎、領域毎に分類され整理されている。	2		
		(142)蔵書数は学生数に見合った十分な冊数である。	1		
		(143)専門分野は専門領域毎に計画的に増補している。	1		
		(144)学術雑誌は指定基準以上の種類を有している。	2		
		(145)視聴覚機器が整備されている。	0		
		(146)図書と学術雑誌およびビデオ・DVD等の整備点検はできています。	1		
		(147)司書を配置している。	2		
		(148)学生が利用しやすい時間帯に開室している。	2		
		(149)新刊図書の紹介をしている。	2		
		(150)必要な図書増備の予算計画ができています。	2		
		(151)文献検索のためのインターネットの設備がある。	2		
	4)教材の整備と管理	(152)教材教具は定期的に点検を行っている。	1		
(153)専門領域毎に教育内容に合った教材を増備している。		2			
(154)機械・器具、標本、模型は学生数に見合って十分な数を整備している。		2			
(155)ビデオ・DVD等、視聴覚教材は自己学習に使用できる。		1			
(156)教材購入の経費は年次毎に計画し増備している。		2			

10. 社会 への 貢献	1)地域社会との連携と社会への啓蒙	(157)看護教育および看護の情報を公開し、広報活動を行っている。	2	1.33	・ホームページにも掲載しているように地域との連携はとても活発であると思う。非常に良いことなので、今後も継続をお願いしたい。
		(158)学校行事は地域社会性を考慮して教育計画に位置づけている。	2		
		(159)地域への働きかけは社会のニーズに応じた内容である。	2		
	2)近隣関連施設との連携	(160)近隣施設へのボランティア活動に積極的に参加している。	0		
		(161)社会人および近隣施設の生涯教育の場として学校を開放している。	1		
(162)近隣関連施設との情報交換および連携システムができています。	1				
11. 予算	1)事業計画	(163)学校の事業計画を立てている。	2	1.14	特になし。
		(164)事業計画は病院の全体計画の中に適切に位置づけられている。	2		
		(165)中・長期目標の執行計画が立てられている。	1		
	2)予算の執行	(166)年間の予算計画・執行状況を把握し、必要時修正している。	1		
		(167)職員は収支の状況を把握している。	1		
	3)経営意識	(168)職員全員が経営意識を持っている。	0		
(169)職員は歳出削減に向けて努力している。		1			
12. 学校 評価	1)自己点検・自己評価	(170)学校自己点検・評価のシステムが作られている。	2	1.60	特になし。
		(171)自己点検・評価に必要な基礎データ等の整備がなされている。	2		
		(172)自己点検・評価を定期的実施している。	2		
		(173)自己点検・評価の結果を公表している。	1		
		(174)評価を次年度に活かしている。	1		